

## 生活介護 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年3月31日

事業所名: 多機能型事業所にじいろ 回答数: 7名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4			空間の広さに制限があり、利用人数により介助等の動線がとりづらいこともあります。また、ベッド配置や仕切りの利用などの工夫をしています。また、プレイマットを利用されている人数が多いと感じこともあります。	活動や介助場面、機能訓練時など、向きや位置等に気を配っています。定期的な生活空間の見直しとともに、支援内容の順序など、日々の工夫をおこなっていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2			人員基準は満たしていますが、通所人数が多い場合など、安全への配慮をおこなっています。	活動やケアの流れなどの創意工夫をおこない、十分な支援ができるように心がけます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5	2			構造化までは至っておらず、移乗における快適性は設備的に難しく、工夫や検討をしている。通所の始まりや終わり、活動の始まりなどでできるだけ音楽を使って場面の転換を図っています。	ご本人にわかりやすいように、絵カードなどの利用や、福祉用具の利用などの環境的な配慮を継続しておこなっていきます。また、急変時等の応援要請方法等の整備も検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、利用者の活動に合わせた空間となっているか	6	1			季節にあわせた制作物の展示や、壁面づくりをおこなっています。また、清掃も毎日実施しています。	継続しておこなってまいります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7				アセスメントを担当制として、支援会議を実施しています。また、職員会議で目標や行動計画を決めて実施しています。	継続しておこなってまいります。
	6	利用者・家族等向け評価表により、本人もしくは家族等に対して事業所の評価を実施するとともに、本人および家族等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7				モニタリングやガイドラインに沿った事業所評価などを利用して、意向確認や業務改善を適宜おこなっています。評価表の検討も継続しておこなっています。	職員間での周知を図り、業務改善などの見直しも継続的にこなってまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び利用者・家族向けの評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	6			1	自己評価や保護者からの評価は、事業所内の会議で共有、検討を行い、ホームページでの公表を行っています。	継続しておこなうとともに、職員への周知を図ってまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		4		現在、第三者評価はおこなっていません。	導入の検討をおこなっています。また、現状の情報共有を職員間でおこなってまいります。

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			支援や活動、障がいの捉え方など、内外部での研修等に参加する機会を設けています	継続しておこなっていきます。
適切な支援の提供	10	年齢相応の対応、言葉かけ、呼称を使っている。	7			対応方法を心がけておこなっています。	継続しておこなっていきます。
	11	職員や関係者の価値観で決めるのではなく、利用者の意思を尊重するように努めている。	7			意思決定支援に配慮し、実践しています。	継続しておこなっていきます。
	12	利用者に合わせたコミュニケーション方法を選択している。	7			わかりやすい伝え方や、ご本人の任事なども参考にしながらコミュニケーションを図っています	継続しておこなっていきます。
	13	アセスメントを適切に行い、利用者や家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、生活介護計画を作成しているか	7			モニタリングを踏まえ、事業所内の会議で共有、話し合いをもとに作成しています。	継続しておこなっていきます。
	14	アセスメントを適切に行い、利用者や家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、多職種協働でカンファレンスの実施、リハビリテーション実施計画書を作成しているか	7			モニタリングを踏まえ、事業所内の会議で共有、話し合いをもとに作成しています。	継続しておこなっていきます。
	15	利用者の心身の状態、適応の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	2	今年度、ツールの模索や検討をおこない試行しています。	今後も、利用される方々にあわせたツールを検討し、導入していきたいと考えています。また、職員間での情報共有を図っていきます。
	16	生活支援計画書には、生活介護の基本方針で示す支援内容から、利用者の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			モニタリングや各職種の評価を共有し、各項目にあわせて支援目標や具体的な内容を明文化しています。また、手順書の作成をおこない、活用しています。	継続しておこなっていきます。
	17	生活介護計画に沿った支援が行われているか	7			中間評価等で振り返りをおこないながら、計画を実践しています	継続しておこなっていきます。
	18	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			年間の行動計画として企画し、実践しています	継続しておこなっていきます。
	19	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			会議等で話し合いをしながら、色々な工夫をしながらおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	20	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ生活介護計画を作成しているか	5	1		生活支援計画書の作成とともに、具体的な方法などは手順書なども活用して実践しています。	継続しておこなっていきます。また、職員間での情報共有も図っていきます。
	21	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			始業時にあわせてミーティングをおこない、確認しています。	継続しておこなっていきます。

	22	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		2	送迎等の関係上、定期的な打ち合わせ時間は設けていません。現状では、翌日のミーティング時や、適宜、必要に応じて話し合いや書面伝達をおこなっています。	共有方法の工夫をおこなっていきます。また、職員間での情報共有を図っていきます。	
	23	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		実践しています。	記録の徹底の継続と、検証改善などの周知にもつとめていきます。	
	24	定期的にモニタリングを行い、生活介護計画の見直しの必要性を判断しているか	7			現状では、概ね1回/月で実施しています。	継続しておこなっていきます。	
関係機関や保護者との連携	25	定期的にモニタリングを行い、リハビリテーション実施計画書の見直しの必要性を判断しているか	7			現状では、概ね3か月に毎に実施しています。	継続しておこなっていきます。	
	26	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に参画しているか	6			1	現在、担当制としており、電話やファックス等も活用しながら、各々に対応して状況共有を図っています。	継続しておこなっていきます。また、職員間での情報共有も図っていきます。
	27	利用者および家族の生活に関わりのある関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7				地域の関係機関との情報共有、連携をとりながら支援をおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	28	(医療的ケアが必要な利用者や重症心身障害のある利用者等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、介護の関係機関と連携した支援を行っているか	7				関係医療機関や保健福祉事務所、特別支援学校などとの連携を図っています。	継続しておこなっていきます。
	29	(医療的ケアが必要な利用者や重症心身障害のある利用者等を支援している場合)利用者の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7				連絡体制を整備し、緊急申し送りカードの作成もおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	30	他の障害者支援センターや障害者支援事業所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			1	今年度から実施された出張研修を依頼し、事業所での受講をおこなっています。	機会を活用して、継続して行っていきます。また、職員間でも情報共有を図っていきます。
	31	他事業所や地域等との交流や、障害のない人と活動する機会があるか	7				定期的な交流はありませんが、今年度はプラネタリウム(地域交流イベント)を開催、交流を図りました。また、複合型施設の行事等にも参加しています。	交流方法などを継続して、検討していきます。
	32	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の生活状況や課題について共通理解を持っているか	7				モニタリングや送迎や訪問を利用して、ご家庭との連携を充実させています。	継続しておこなっていきます。
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して計画的な支援を行っているか	6	1			明確なプログラムとしては実施していませんが、勉強会をおこない、それをもとにご家庭との連携を密に行い、相談や助言を行っています。	当事業所にあった支援方法の内容や考え方の確立(マニュアル化等)を検討していきます。また、実施状況など職員間での共有

本人・保護者への説明責任等	34	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時や規程等の変更が生じた場合、文書等も利用した説明をおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	35	生活介護の基本指針に基づき作成された「生活介護計画」を示しながら支援内容の説明を行い、利用者・家族から生活介護計画の同意を得ているか	7			計画書更新の説明時に同意をいただいています。	継続しておこなっていきます。
	36	多職種協働で作成した「リハビリテーション実施計画」を示しながら支援内容の説明を行い、利用者・家族から生活介護計画の同意を得ているか	7			計画書更新の説明時に同意をいただいています。	継続しておこなっていきます。
	37	定期的に、利用者および家族からの生活上の悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			日々の関わりの中で、ご様子なども伺い相談をおこなっています。また、その内容は職員間でも共有しています。	継続しておこなっていきます。
	38	当事者および家族の会の活動を支援したり、家族会等を開催する等により、当事者や家族同士の連携を支援しているか	7			成人懇談会による家族同士のつながりを持つことができました。防災をテーマに小児在宅懇談会(1回/年)も予定していましたが、新型コロナウイルスの予防対策として延期	情勢をみながら、懇談会の開催は検討していきます。
	39	利用者や家族からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用者や家族に周知し相談や苦情の申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			ご家族からの苦情については現状ありませんが、申し入れや相談などにあわせて、適宜対応などを柔軟に実施しています。	継続しておこなっていきます。
	40	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や家族に対して発信しているか	7			毎月、ホームページ上のブログにて活動の様子や行事等の紹介をおこなって、ご家族にお配りする日程表にも明記して	継続しておこなっていきます。
	41	個人情報の取扱いに十分に注意しているか	7			留意して取り扱いをしておき、必要に応じて同意書等にご協力いただいています。	継続しておこなっていきます。
	42	障害のある利用者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			ご本人やご家族に合わせた配慮をおこなっています。	今後、絵や写真等も利用し、より分かりやすさに配慮していきます。
43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	7			複合型施設とも協同しながら、夏祭り、プラネタリウム、ハロウィンなどの行事	継続しておこなっていきます。	
非常時	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や利用者、家族に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			契約時や必要に応じて、周知しています。また、地震や火災の避難訓練とともに水災害の訓練もおこなっています。	継続しておこなっていきます。
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			定期的な訓練を通所された利用児者の方々と一緒におこなっています。	継続しておこなっていきます。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の利用者の状況を確認している	7			適宜、確認をおこない、個々に緊急申し送りカードなどを作成しています。	継続しておこなっていきます。

同等の対応	47	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2		提供する食事に関しては、ご自宅から持参されたものとしています。	必要に応じて、ご家族や関係機関からの情報収集をおこなっていきます。
	48	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			ヒヤリハット等あった場合は、報告書を作成し、会議等で事例の共有や検討を	継続しておこなっていきます。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		1	研修を実施して、知識や対応などの刷新ができるように心がけています。	継続しておこなっていきます。
	50	どのような場合にやむ得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や家族に事前に十分に説明し了解を得た上で、生活介護計画に記載している	5		1	支援方法や環境などの統一を図り、身体拘束には十分気を付けています。	継続していいこない、適宜、計画への記載や利用児者とご家族への説明などをおこなっていきます。